

2019年2月17日（日）13:50-17:00 @仙台
「新しい東北」交流会内企画 | ボランティア交流会

東日本大震災からの 復興における ボランティアを考える

本企画では、**自発的な意思に基づいて他人や社会に貢献する
多様な担い手やその行為**をボランティアと定義します

開催概要

日時：2019年2月17日（日）13:50～17:00

会場：TKPガーデンシティPREMIUM

仙台西口 ホール7B

仙台市青葉区花京院1-2-15

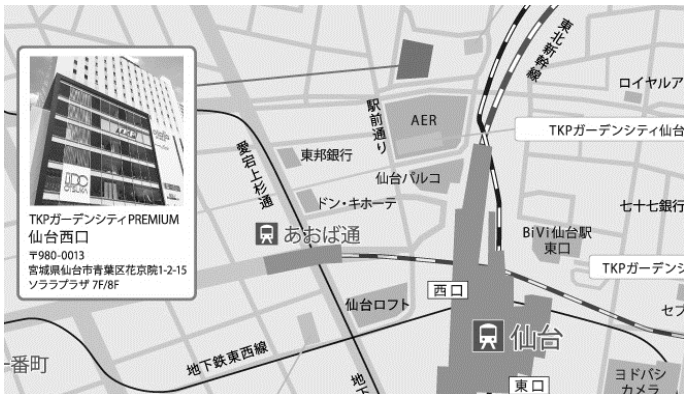
ソララプラザ 7F

JR東北本線 仙台駅 西口 徒歩3分

定員：100名

参加費：無料

対象：どなたでもご参加頂けます



開催趣旨

東日本大震災に関わるボランティアについて、震災後、減少傾向が続いています。復興の進展とともに、被災地の課題も変化してきていますが、高齢化、人口減少が顕在化する中、産業・生業の再生、地域づくりの推進のためには地域外の人材を呼び込むことが重要とされてきています。

このような中、これまでボランティアやボランティアに関わるコーディネーターとして被災地に関わった方々にお集まりいただき、これまでのボランティアを振り返り、今後はどうあるべきか、何が必要かを考え、今後の更なる被災地での交流・復興のきっかけとなることを目指し開催します。

お申込み

申込締切：

2019年2月14日（木）

ウェブサイトからお申込みの場合：

連携復興センターウェブサイト、
またはQRコードから必要事項を
入力の上お申込みください



メール/FAXからお申込みの場合：

①氏名 ②所属・役職 ③連絡先（メール）
の3点をご記入の上、下記事務局までご連絡
ください。FAX申込用紙は裏面にあります

実施体制

共催：

特定非営利活動法人いわて連携復興センター
一般社団法人みやぎ連携復興センター
一般社団法人ふくしま連携復興センター

協力：

復興庁 ボランティア・公益的民間連携班



問い合わせ先

一般社団法人 みやぎ連携復興センター

担当：石塚・高橋・沖澤

メール：info@renpuku.org

電話：022-748-4550

FAX：022-748-4552

多様な担い手によるダイアログセッション「東日本大震災からの復興におけるボランティアを考える」は復興庁平成30年度被災者支援コーディネート事業の一環で実施します。

ディスカッションのテーマ

これまでのNPO・社会福祉協議会・大学・企業等の多様な担い手によるボランティアを振り返る。その中で伝えていくべき知見は何か。これからのそれぞれの担い手によるボランティアはどうあるべきか。そのために何が必要かを考えます。

テーブルA

教育機関（大学）セッション

キーワード：

社会参画・大学間ネット・世代交代等

テーブルC

非営利組織（NPO）セッション

キーワード：

復旧復興支援・関係人口・社会課題解決等

テーブルB

社会福祉組織（社協）セッション

キーワード：

災害ボラセン・災害時対応・地域福祉等

テーブルD

営利組織（企業）セッション

キーワード：

CSR・SDGs・CSV等

総括

コメンテーター： 田村太郎氏 復興庁 復興推進参与

【2月17日開催】東日本大震災からの復興におけるボランティアを考える
FAX 参加申込用紙（2/14㍻切）

事務局（みやぎ連携復興センター）宛

FAX 022-748-4552

代表 連絡 先	団体名 組織名		所在地	県
	E-mail			市・町・村
参加者				
	お名前		役職	
1				
2				
3				
4				
5				

差し支えなければ、今後、共催団体又は協力団体からイベント情報等をお申込みいただきましたメールアドレス宛にお送りさせていただきます